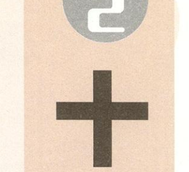
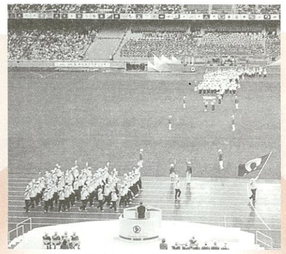
特集2 十一年の県政 主な動き



県民みんなが生まれて良かったと思える熊本に向け、一歩一歩前進した平成十年。
来年は、もっと躍動し、優しさにあふれた熊本に。
来年予定されている主な動きを紹介します。

くまもと未来国体・ハートフルくまもと大会が開催



かながわゆめ国体秋季大会での県選手団の入場

ハートフルくまもと大会で楽隊を組む県立盲学校の皆さん

「くまもと未来国体」と、身体に障害のある方々の国体ともいえる「ハートフルくまもと大会」が開催されます。県民みんなで心に残る大会に。

- ●国体イヤー開幕祭など（一月～）
- ●くまもと未来国体夏季大会（九月）
- ●くまもと未来国体秋季大会（十月）
- ●ハートフルくまもと大会（十一月）

介護保険制度施行準備が最終段階へ

生き生きとした長寿社会を

平成十二年四月からの介護保険制度導入に向け、

- ●要介護認定申請の受付や認定のための作業が開始（十月）
- ●制度のかなめとなる介護支援専門員の養成や、制度運営の指針となる介護保険事業計画の策定、保険料の設定などの準備が本格化

力強い産業を目指して

第二テクノパーク内に完成した貸工場

- ●（財）熊本テクノポリス財団の共同研究棟や、みなまた環境テクノセンター（仮称）が完成。新産業創出のための研究開発体制が充実（三月）
- ●県立技術短期大学校の第一期卒業生が産業界へ（四月）
- ●熊本港を拠点に海外貿易の振興を図るフアズ物流センターが完成（秋）
- ●元気な農業を消費者との連携のもとにつくる運動を新たに展開。農業農村の基盤・生活環境の整備とともに、いぐさ「ひのみどり」やアールス系メロンなどの新品種によるブランド化が進展

まちがもっと便利に

工事が進む益城熊本空港インターチェンジ（左はグランメッセ熊本）

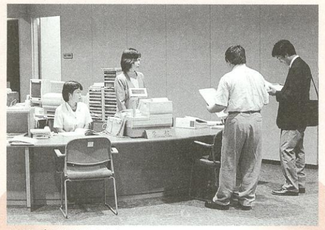
- ●九州縦貫自動車道肥後トンネル区間の対面交通が解消（一月）
- ●産業展示場「グランメッセ熊本」隣に益城熊本空港インターチェンジが完成（春）
- ●球磨川上流流域下水道が錦町他五町村の一部地域で供用開始（四月）
- ●八代港と熊本港にコンテナターミナルが完成（六月）

恵まれた環境を次世代へ

県立大学環境共生学部は環境との共生がテーマ

- ●環境ホルモンやダイオキシン問題について、地下水、大気、発生源などの監視を実施
- ●県立大学に環境共生学部が発足。環境共生型社会を創造するための具体的方策を教育・研究（四月）（現在認可申請中）

県民・地域の視点に立った行政改革



情報プラザ（県庁内）

- ●地域における総合行政を推進するため、県事務所、保健所、土木事務所を統合した地域振興局構想を具体化
- ●地方分権時代に対応した市町村の行政体制の整備の推進や、複数の市町村が協力して広域的に仕事を進める広域連合など、広域行政への取り組みが進展

暮らしに生かそう 耳より情報

一人で頑張りすぎていませんか？

介護することが、心や体の負担になっていませんか？　高齢者の方の介護などが必要になったときのために、さまざまなサービスが用意されています。「高齢者の方には専門的な介護を、家族の方には休息を」。上手に活用して、安心できる暮らしに役立てましょう。

安心で快適な生活のお手伝い

相手や周りに遠慮して、家庭の中だけで介護を頑張り過ぎていませんか？　無理をしていたのでは、長続きは望めません。専門的なサービスを利用することも、お互いを思いやる気持ちの表現の一つです。

サービスには、自宅などで生活しながら利用できる「在宅サービス」と、施設に入所したうえで受ける「施設サービス」があります（左表）。これらのサービスを必要に応じて利用することができます。

介護保険の導入でますます身近に

十二年四月から市町村を保険者とする介護保険制度が導入されます。総合的なサービスの提供が行われることとなり、介護サービスはますます身近になります。（来年度号などで詳しくお知らせします）

■サービス利用のご相談は
- ●お住まいの市町村役場
- ●各在宅介護支援センター
- ●シルバー一一〇番

☎〇九六―三三五―八〇八〇などへ

■お問い合わせ先
熊本県高齢保健福祉課
☎〇九六―三八三―一一一一（内線七一〇六）

主な在宅サービス

- ●訪問介護（ホームヘルパーが排泄（ハイセツ）、入浴などの介助や家事などを行います）
- ●日帰り介護（デイサービスセンターまで送迎し、食事、入浴、日常動作訓練などを行います）
- ●短期入所生活介護（介護者が冠婚葬祭、旅行等の場合、一週間程度老人ホームなどでお世話します。）
- ●車いすなどの福祉用具の給付・貸与（マットレス、腰掛便座、痴呆性老人徘徊（ハイカイ）感知機能器、車いすなど）
- ●日帰りリハビリ（病院・老人保健施設等に通ってリハビリテーションを行います）
- ●機能訓練（心身の機能が低下している方に、必要な訓練を行い、日常生活の自立を助けます）
- ●訪問指導（主治医の指導のもとに、保健婦・看護婦・栄養士・歯科衛生士が訪問して指導を行います）
- ●老人訪問看護（主治医との連携のもとに、老人訪問看護ステーションの保健婦・看護婦などが訪問し、看護を行います）

主な施設サービス

- ●特別養護老人ホーム
  （常時介護を必要とする方が入所できます）
- ●老人保健施設
  （寝たきりや寝たきりに準じる状態にある方が、機能訓練や看護・介護を中心とした医療サービスを受けます）
- ●軽費老人ホーム・ケアハウス
  （家庭環境などのために自宅での生活が困難な方や、独立して生活するには不安のある方が入所できます）

くまもと未来国体・ハートフルくまもと大会だより

くまもと女性特派員レポート

くまもと女性特派員　西村純子さん

皆さんも「くまもと未来国体」の主役に

左が西村さん

くまもと未来国体まであと１年を切りました。県内各地で花いっぱい運動やボランティア活動への参加をはじめ、レクリエーションダンスや国体音頭の創作など、開催にむけた活動の輪が広がっています。

ところで、皆さんは「自分は国体選手じゃないから」と国体競技への参加をあきらめていませんか。熊本県民なら誰でも参加のチャンスがあるデモンストレーションとしてのスポーツ行事をご存じでしょうか。今回はその一つ、ミニバレーボールを紹介します。

ミニバレーボールの会場地となっている大矢野町では、町のみんなで来年の国体を盛り上げようとミニバレーボールの大会が行われていました。柔らかいゴム製のボールを使い、男女２名ずつの４人１チームでの対戦。この日の参加はなんと66チーム。子ども連れのお母さんや仕事帰りのお父さん、今日できたばかりの即席チームなどが試合開始１時間ほど前からどんどん集まってきます。「参加するようになって友達ができた。」「ボールが痛くないのでやりやすい。」「やってみたら楽しかった。」と、参加した方は、額に汗をかいたまま答えてくれました。

経験に関係なく誰でもすぐできるミニバレーボール。見ていた私も「やってみたい」と思えたのは、こんな手軽さと、参加者一人ひとりが主役になれると感じたからです。友人と、近所の人と、職場の人と気軽に参加できる「デモンストレーションとしてのスポーツ行事」。皆さんも国体に選手として参加し、主役になってみませんか。

こころはひとつ 感動のドラマ　1999！

くまもと未来国体 オープニングフェスタ

- ◘開催日時
  平成11年１月17日（日）
  13:00～16:00
- ◘開催場所：熊本県立劇場
- ◘内容
  - ・第1部　セレモニー
  - ・第2部　アトラクション
    マルタ＆森口博子コンサート
  - ・展示コーナー
- ◘入場無料（整理券が必要）

参加申し込み方法
（12月23日まで）
◘ハガキの場合
〒860-0805
熊本市桜町3-35
「国体オープニングフェスタ」係まで
◘FAXの場合
096-359-8346

お問い合わせ先／
熊本県国体推進局県民運動班
☎096-387-1999（内線160）

ハートフルくまもと大会 専門ボランティア養成 いよいよ開始

手話を学ぶ専門ボランティアの方々

ハートフルくまもと大会の専門ボランティア「手話通訳」と「要約筆記」の養成が始まりました。大会では約400名が、聴覚に障害のある方のコミュニケーションがスムーズにいくよう支援します。

これから一年間、約40回の講座で基礎から応用まで習得し、本番に備えます。

皆さんの意欲ある姿に、“がんばるが、いっぱい”です。

第54回国民体育大会
人、光る。くまもと未来国体
●夏季大会／平成11年 9月11日（土）～14日（火）
●秋季大会／平成11年10月23日（土）～28日（木）
●お問い合わせ先／熊本県国体推進局
☎096-387-1999

がんばるが、いっぱい。
第35回全国身体障害者スポーツ大会
ハートフルくまもと大会
●開催日／平成11年11月6日（土）・7日（日）
●お問い合わせ先／
全国身体障害者スポーツ大会推進室
☎096-387-2100